



愛美会 ニュース

2004.9 NO.3 愛美会企画部
愛知県四国中央市上分町2-2 TEL 0896-56-2333
<http://www.11.plala.or.jp/aibikal/>

社会福祉法人 愛美会

介護老人福祉施設 樋谷荘
介護老人保健施設 アイリス
ケアハウス 虹の里
グループホーム 虹の里

第14回 愛美会 盆踊り大会

「皆さん、こんばんはー」と今年の暑さを吹き飛ばすほどの、威勢のいい挨拶から始まった「愛美会盆踊り大会」
去る八月十日に行われ、今年で十四回目を迎えました。
井原四国中央市長さんをはじめとすご来賓8名の方々もお祝いにかけていただき、各婦人会や地域の団体を中心とした約二百名の踊り連と入居者・ご家族の方々を含めた総勢約六百四十名の皆様方のお力添えを



(開会式 檜の上で理事長が挨拶)



(グラウンドを埋め尽くす程の踊り連の皆様)

いただき盛大に開催されました。
檜を中心に、三重の輪になった踊り連は、愛美会のグラウンドを埋めつくさんばかりの大円団となりました。
地元の川之江音頭、炭坑節を中心に前半二十分踊っていた、いた後、打ち上げ花火をはさみ、後半の部のスタートは、去る八月一日に行われました第二十七回四国川之江紙祭りにおいて、石川病院グループとして、十年連続優勝中の紙踊りからはいり、



(入居者の方々も浴衣を着て笑顔で踊られる)

それぞれ入居者やご家族、職員も檜の周りを取り囲み、各踊り連の皆様と一緒に、総踊りをして、楽しい夏のひとつきを過ごしました。
ケアタウン樋谷郷の年に一度の盆踊り大会は、こうして多数のボランティアの方々を支えられ、成立っています。
これからも愛美会の理念の具現化を目指し、皆様方の意見を幅広く取り入れ、地域とともに歩んでいきたいと思えます。

東奔西走!!『お出かけクラブ』



昨年4月、国の施設運営基準に「入居者の生活を施設内で完結する事が無いよう、様々な外出の機会を設けること。」と外出への取り組みが努力義務として示されました。

そこで、樋谷荘でもそれまで行ってきた、お花見や、お寺参りなどの集団での外出に加え、入居者の皆様の声を聞き、その希望が一つでも実現できるように、少人数での外出を「お出かけクラブ」として取り組んできました。

昨年度は、年間52回と週1回程度の「お出かけ」でしたが、本年は既に60回を越え、二日に

1回は、入居者の誰かがどこかへ外出しているという状況です。

家の事が気になる方は、ご家族のご協力をいただき家に帰ったり、自宅付近をドライブしたり、海が見たいと希望があれば海を見に、花がきれいと言えれば、バラや紫陽花を見に、東へ西へ。

一人一人の嗜好や趣味に合った行き先を選んでいただき、最近では喫茶店や図書館・カラオケ・ビアガーデン・すし店・うどん店と、その活動の場はどんどん広がっています。

必ずしも長時間外出のできる体力のある方ばかりではありませんが、その方の身体状況に応じ、散歩や六地蔵参りなどで外の空気に触れる機会を取り入れています。

もし、町で見かけましたら、是非ひと声かけて下さい。

～嗜好に配慮した食事提供を目指して～

6月15日・16日と高知市で開催されました「第53回四国老人福祉施設関係者研究大会」に於いて、樋谷荘の管理栄養士 三宅千秋さんが、「豊かな食生活の実現」というテーマのもと、「嗜好に配慮した食事提供を目指して」と題し、樋谷荘での栄養・調理の取り組みについて発表されました。

この大会は、毎年1回、四国地区の特別養護老人ホームはもとより養護老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）デイサービスなど老人福祉に関わる全ての人を対象に、職種別に研究発表を行うもので、今回も四国各地より約千人の関係者が参加しました。

行事食や選択食・おやつ・お好み喫茶・居酒屋クラブ等の考え方として、「体の栄養も大切ですが、それと同等以上に、心の栄養を重視し、見る・食べる・参加する楽しみに着目しています。」と述べ、「入居者ひとり一人の顔を思い浮かべながら献立を立て、ひとり一人の心身の状態に心を配りながら調理する。豊かな食生活とはそこから始まる『個別ケア』の原点だと思っています。」と結びました。

尚、この発表は、11月に松山で行われる「全国老人福祉施設研究会議」でも発表されることになりました。



ケアハウス虹の里から

短冊に願いを込めた七夕兼納涼祭

今年も七夕まつりを迎え、虹の里が誇る、高さ6mの巨大笹飾りには、たくさんの願いを込めた短冊が飾られました。

その中には、趣味を活かして、願いを短歌に込められた方もいらっしゃいました。読み返す度に、その歌に込められた詠み人の思いが伝わって来るようです。誰に教わるのでもなく、自分の気持ちを素直に表現する、入居者同士のふれあいが虹の里にはあります。

ケアハウス虹の里で、仲間と一緒に趣味を楽しみながら、のんびりと生活してみませんか。



詳しくは、下記担当者までお問い合わせ下さい。

- 一、五回目の七夕迎え 有難く心安らか 虹の里にて
- 二、七夕や 数ある星の 夫(キミ)は居ぬかと 恋しくぞ思う
その中に
- 三、若竹の 如く生きよう 虹の里
みんなの愛で 築こう樂園
- 四、美しく 落日ながめ 我もまた
ついて行きたや 西の果てまで
- 五、二人して 巡る札所の 春秋は
心たのしく 幸せの日々

☆ ケアハウス虹の里 ☆ TEL 58-0012 担当：児山・星川

グループホーム虹の里から

恒例の家族懇親会を実施

グループホーム虹の里では、開設から年2回、夏と冬に、入居者・家族・職員が協力し合い、夕食の買出しから調理、配膳までを一緒に行い、食事をしながら、お互いの意見交換をし、近況報告等ざっくばらんに話し合える場を設けています。今年も去る6月25日(金)に開催されました。入居者とご家族が同じ台所に立つ様子は、まさに家庭の風景そのものです。



「これ食べな、あれ食べな」と、子供さん達に勧める母親、お皿に色々取り分けてあげる子供さん、と家族ならではの光景も見られ、皆さんにこやかな顔をされ、いつの間にか時間が過ぎていました。楽しい談笑のなかで、改めて感じられたことは、ご家族の皆さん共通の願いが、いつまでも元気で楽しく暮らして欲しいということです。もちろん私達職員も同じ思いであり、ご家族の願いに応えられるよう、努力してまいります。

ケアハウス・グループホーム 虹の里

城下荘へ Let's Go!!

2004.4 スタート アイリス 逆デイサービスに 向け取組中!!

皆様、逆デイサービスという言葉をご存知ですか？

逆デイサービスとは、施設から地域の古い家屋に出向き、そこで普段味わえない家庭の雰囲気を実感してもらう取り組みをいいます。

アイリスでは、城下荘という石川病院所有の民家を利用し、小グループで1ヶ月に2～3回、約5時間程度、実施しています。



(城下荘の玄関)



(畳の間でくつろがれている様子)



(ホットケーキ作りに挑戦中)

施設の中での生活とは違い、段差がいたるところにあります。あえて、昔の家屋のイメージを崩さず、自分の家で暮らしていた頃を思いうかべられるような、雰囲気作りを心掛けています。

城下荘では、御利用者がしたいことをしたい時にでき、1人1人にあったケアが提供できるというメリットがあります。

また、時間に追われることもなく、庭を眺めたり、畳の間でくつろがれたり、普段の何気ない会話でも話がはずみ、ゆったりとした生活環境を満喫されておられます。

また、5月からは御利用者が食べたいものを職員と一緒に近くのスーパーへ買いに行き、おやつ作りや料理教室も実施しています。

好みのものを探して買い物をしている姿や城下荘で過ごされている時は、いつもよりも言葉も多く、表情は生き生きとされているように感じられます。

御利用者にも、城下荘の感想を聞きました。大多数の方々が、「城下荘はよかったよ～」 「機会があればまた行きたいねえ」「遠足気分で購入物に行くのが楽しみじゃ」「畳でくつろげるのいいね」など、大好評です。

これからもご希望にそった、より最適なサービスを提供し、1日でも早く在宅に復帰できるように支援していければと思っています。